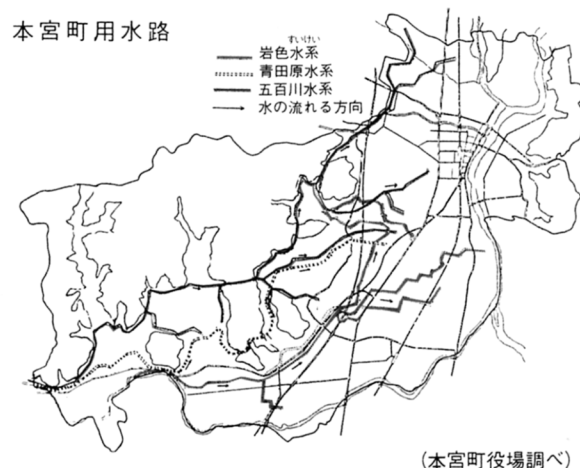


用水路の工夫と広がり

用水路は、どのように広がり、人々の生活を変えてきたのでしょうか。

人々のねがいが通じてつくられた^{そすい}疏水は、農業用水として、関下、青田、仁井田、本宮町南部を水田や畑に変えて、生活の^{こうじょう}向上に役立ちました。また、その一部は、青田原^{あさか}疏水、安積^{ちいき}疏水とも合流し、地域の開発に役立ちました。今では、人々の飲み水はもちろん、工業用水にも使われています。水の町本宮といわれるまでに広がっている用水路や疏水は、先人の苦労や工夫があればこそできたものです。



もっとくわしく調べるために、見学したり、資料館に行ったりしてみましょう。